

第12回認知症予防学会

運動機能科学領域 大木 雅隆

9月15日、16日、17日に新潟県新潟市の朱鷺メッセにて、第12回認知症予防学会が開催されました。学会のテーマは、「認知症予防のための他職種協働と地域連携」で、医師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士などの医療職に加え、一般の団体からも参加者が集まり、発表されていました。

私は、1日目の9月15日に、「地域在住高齢者のバランス機能と認知機能の関連について」という題目で口頭発表を行いました。

本研究は、本学と貝塚市が共催している「つげさんアタマとカラダを知るヘルスチェック」に参加した人、本学で開催されているシニア講座に参加した人のうち、本研究への参加を希望された人を対象としました。認知機能（Addenbrooke's cognitive examination-Ⅲ：ACE-Ⅲ）、運動機能（握力、30秒椅子立ち上がりテスト、歩行速度、片足立ち時間）、血中生理活性物質などを測定し、認知機能と運動機能の関連を調べました。結果、ACE-Ⅲの合計点と片足立ち時間と関連があること、ACE-Ⅲの下位領域では記憶領域の得点と関連があることがわかりました。

初めての学会発表であり、発表するまでは非常に緊張しましたが、実際の発表が始まってからは落ち着いて練習通りに発表することができたと思います。

